

専門基礎分野

疾病論Ⅱ

科目責任者：

担当者：櫻田 秀樹

1年後期（1単位） 30時間

学習目標	1. 生命現象としての呼吸、循環のしくみを学ぶ。 2. 呼吸器・循環器疾患の成り立ちを理解し、さらに疾患の回復過程、回復に必要な因子を理解する。
------	---

授業内容(シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	循環器系	循環器 構造	講義	櫻田 秀樹
2	循環器系	循環器 検査	講義	櫻田 秀樹
3	循環器系	狭心症	講義	櫻田 秀樹
4	循環器系	心筋梗塞	講義	櫻田 秀樹
5	循環器系	心不全	講義・演習	櫻田 秀樹
6	循環器系	不整脈	講義	櫻田 秀樹
7	循環器系	弁膜症	講義	櫻田 秀樹
8	循環器系	大動脈瘤	講義	櫻田 秀樹
9	呼吸器系	肺の構造	講義	櫻田 秀樹
10	呼吸器系	呼吸器の治療	講義	櫻田 秀樹
11	呼吸器系	肺炎	講義	櫻田 秀樹
12	呼吸器系	結核	講義	櫻田 秀樹
13	呼吸器系	COPD	講義・演習	櫻田 秀樹
14	呼吸器系	肺がん	講義	櫻田 秀樹
15	呼吸器系	胸膜疾患	講義	櫻田 秀樹

評価基準：終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院

実務経験について

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	29年	医師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

基礎看護学概論 I

科目責任者：高橋 かよ子

担当者：吉永 美代子

1年前期 (1単位) 30時間

学習目標	1. 看護の主要概念である対象・健康・環境・看護について理解できる。 2. 看護の歴史の変遷について学ぶ。 3. さまざまな理論家による看護のとらえ方、看護の定義を学ぶ。
------	---

授業内容 (シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	看護の本質	<ul style="list-style-type: none"> ・看護を学ぶにあたって ・看護の変遷 ・看護の定義：保健師助産師看護師法・日本看護協会・ICN/ANN 	講義	吉永 美代子
2	看護の役割と機能	<ul style="list-style-type: none"> ・看護理論家による定義：ナイチンゲール・ヘンダーソン・オーランド・ウイデンバック他 ・ケア・キュア・コア ・ケアリング実践の存在論 ・看護実践とその質保証に必要な要件 ・看護の役割・機能の拡大 	講義	吉永 美代子
3	看護の継続性と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・看護における情報伝達と共有 ・多職種チームの連携と継続的かかわり ・在宅療養を支える連携と継続的かかわり 	講義	吉永 美代子
4	看護の対象理解	<ul style="list-style-type: none"> ・対象理解の基盤となる人体の構造と機能・病態生理 ・看護の使命と結びつくホメオスタシス 	講義	吉永 美代子
5	看護の対象理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」と「からだ」 ・コーピング理論にみる人間の認知的評価と対処 	講義	吉永 美代子
6	看護の対象理解	<ul style="list-style-type: none"> ・患者心理の理解 ・対象者の「こころ」の理解に役だつさまざまな理論 ・ニード論 (マズロー欲求段階説) ・危機理論 	講義	吉永 美代子
7	人間理解	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的発達 ・心理・社会的側面における発達 	講義	吉永 美代子

8	暮らしの理解	<ul style="list-style-type: none"> 生活者としての人間 看護の対象としての家族・集団・地域 	講義	吉永 美代子
9	健康のとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> 健康とはなにか 健康でない状態とは 障害とはなにか 健康と生活 	講義	吉永 美代子
10	国民の健康状態	<ul style="list-style-type: none"> 国民の健康の全体像 子どもの成長と健康 高齢者と介護 	講義	吉永 美代子
11	国民のライフサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 平均寿命と出生 結婚と出産・家族 	講義	吉永 美代子
12	職業としての看護	<ul style="list-style-type: none"> 職業としての看護の始まり・確立・充実 職業としての看護の発展 	講義	吉永 美代子
13	看護の提供者	<ul style="list-style-type: none"> 看護職の資格・養成制度・就業状況 	講義	吉永 美代子
14	継続教育とキャリア開発	<ul style="list-style-type: none"> 看護における継続教育 専門看護師・認定看護師・認定看護管理者 	講義	吉永 美代子
15	終講試験			吉永 美代子

評価基準：授業態度・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論 医学書院

実務経験について（吉永 美代子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	10年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

基礎看護学方法論 I

科目責任者：高橋 かよ子

担当者：竹村 眞理 齊藤 優二

1年前期 (1単位) 30時間

学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要な看護技術とはなにかを理解する。 2. 看護師に必要な感染防止の基礎的な知識を理解し、技術を習得できる。 3. 対象に必要な活動と休息の基礎的な知識を理解し、対象に応じた適切な技術を習得できる。 4. 対象に必要な苦痛の緩和・安全確保の基礎的な知識を理解し、対象に応じた適切な技術を習得できる。
------	--

授業内容 (シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	看護技術	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術とは ・技術の特徴・範囲 ・看護技術を適切に実践するための要素 	講義	竹村 眞理
2	感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・感染とその予防の基礎知識 	講義	竹村 眞理
3	感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策 (スタンダードプリコーション) ・感染経路別予防策 	講義	竹村 眞理
4	感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄・消毒・滅菌 ・無菌操作 ・感染性廃棄物の取り扱い 	講義	竹村 眞理
5	感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止の技術演習 	講義・演習	竹村 眞理
6	感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止の技術演習 (針刺し事故の防止・事故後の対応含む) 	講義・演習	竹村 眞理
7	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢・体位・体位変換の基礎知識 ・ボディメカニクス 	講義・演習	齊藤 優二
8	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の基礎知識・廃用症候群・褥瘡・関節可動域 ・ADL・IADL 	講義	齊藤 優二
9	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換援助の実際 	演習	齊藤 優二
10	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・移動 (車椅子・ストレッチャー) 	演習	齊藤 優二
11	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・移動 (車椅子・ストレッチャー) 	演習	齊藤 優二
12	活動と休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> ・休息・睡眠の基礎知識 ・レム睡眠・ノンレム睡眠 ・サーカディアンリズム 	講義	齊藤 優二

13	苦痛の緩和技術	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術における安全・安楽 ・基本的な体位、安楽な体位 ・精神的安寧を保つためのケア 	講義・演習	齊藤 優二
14	苦痛の緩和技術	<ul style="list-style-type: none"> ・電法の基礎知識 ・身体ケアを通じてもたらされる安楽 ・電法援助の実際（温電法・冷電法） 	講義・演習	齊藤 優二
15	終講試験			竹村・齊藤

*講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準：授業態度・演習への参加姿勢・課題・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院

根拠と医療事故から見た基礎・臨床看護技術 医学書院

ゴードン博士の看護診断アセスメント指針よく分かる機能的健康パターン 照林社

実務経験について（竹村 眞理）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	19年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

実務経験について（齊藤 優二）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	13年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

地域・在宅看護論概論 I

科目責任者： 加藤 章子

担当者： 白井 薫

1年前期 (1単位) 15時間

学習目標	地域で生活している人とその家族を、地域特性から把握する必要性を理解する。 地域における看護の特徴と役割を理解し、多職種や看護職同士のとの協働連携を理解する。
------	---

授業内容 (シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	地域の人々の生活を支える看護	地域社会とは何か 地域社会の特徴とライフサイクル	講義	白井 薫
2	地域の人々の生活を支える看護	地域の特性と健康への影響 地域の健康を支える地域包括ケアシステム	講義 DVD	白井 薫
3	地域の人々の生活を支える看護	地域包括ケアシステムと社会背景 地域包括ケアシステムの中の看護職	講義	白井 薫
4	在宅療養を支える看護	在宅療養とは何か 在宅療養の対象者とは誰か	講義 DVD	白井 薫
5	在宅療養を支える看護	在宅看護の社会背景を理解する 在宅看護と訪問看護の違いが理解できる	講義 DVD	白井 薫
6	在宅療養を支える看護	看護職同士の協働・連携 多職種との協働・連携	講義 DVD	白井 薫
7	まとめ	まとめ 出身地の地域包括ケアシステムと生活を知る	講義 演習	白井 薫
8	終講試験			白井 薫

評価基準：終講試験

教科書：地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 1 系統看護学講座 医学書院

地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論 2 系統看護学鋼材 医学書院

参考資料：国民衛生の動向

実務経験について（白井 薫）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6年	保健師 看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

地域・在宅看護論方法論Ⅲ

科目責任者： 加藤 章子

担当者： 加藤 章子

2年後期 (1単位) 30時間

学習目標	在宅で療養生活をおくる人とその家族への看護過程の展開を理解する。 地域における疾病予防・介護予防に対する看護を理解する。
------	---

授業内容 (シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	保健医療圏と社会資源の活用	賀茂保健医療圏をもとに医療マップを製作する。	演習	加藤 章子
2	保健医療圏と社会資源の活用	賀茂保健医療圏での保健活動の背景と疾病予防・介護予防効果のデータ分析を実施する。	演習	加藤 章子
3	保健医療圏と社会資源の活用			
4	在宅での看護過程の展開	事例①ALS 事例②慢性閉塞性肺疾患 事例③女性生殖器のがん 各疾患の理解 看護過程展開事例の決定	演習	加藤 章子
5	在宅での看護過程の展開			
6	在宅での看護過程の展開			
7	在宅での看護過程の展開	看護過程の展開	演習	加藤 章子
8	在宅での看護過程の展開	看護過程の展開	演習	加藤 章子
9	在宅での看護過程の展開	看護過程の展開	演習	加藤 章子
10	在宅での看護過程の展開	各事例の看護過程の展開と看護問題の発表・看護の工夫の実施	演習	加藤 章子
11	在宅での看護過程の展開			
12	在宅での看護過程の展開			
13	在宅での看護過程の展開			

14	まとめ	発表をもとに、事例展開の視点を広げる。	演習	加藤 章子
15	終講試験			加藤 章子

評価基準：終講試験

教科書：地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1 系統看護学講座 医学書院

地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2 系統看護学鋼材 医学書院

参考資料：国民衛生の動向

実務経験について（加藤 章子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

老年看護学方法論 I

科目責任者： 三枝 よし子

担 当 者： 三枝 よし子

2年 後期 (1単位) 30時間

学習目標	1) 加齢変化や高齢者特有の症状や疾病・機能障害の視点からのセスメントに基づき、生活機能を整え、回復を促す看護について学ぶ。 2) 治療を必要とする高齢者の看護について学ぶ。 3) 人生の最終段階を生きる高齢者に対するエンドオブライフケアについて学ぶ。
------	--

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	高齢者のヘルスアセスメント	グループワーク演習	演習	三枝 よし子
2		身体に加齢変化とアセスメント	GW	三枝 よし子
3		身体に加齢変化とアセスメント	発表	三枝 よし子
4	認知機能障害のある高齢者の看護	うつ・せん妄・認知症のある高齢者の看護	講義	三枝 よし子
5	高齢者の生活機能を整える看護	高齢者体験	演習	三枝 よし子
6		高齢者とのコミュニケーション (視覚障害・聴覚障害・認知症のある高齢者とのかかわり)	講義	三枝 よし子
7		高齢者の排泄ケア (排泄障害：失禁・便秘)	講義	三枝 よし子
8		高齢者の排泄ケア (おむつ交換)	演習	三枝 よし子
9		日常生活を支える基本的活動 (ADL・IADL・転倒予防・廃用症候群)	講義	三枝 よし子
10		高齢者の食生活 (嚥下障害・経管栄養)	講義・演習	三枝 よし子
11		健康逸脱からの回復を促す看護	高齢者に多い症状と看護(睡眠障害・褥瘡)	講義
12	高齢者に多い疾患と看護 (誤嚥性肺炎)		講義	三枝 よし子
13	治療を必要とする高齢者の看護	薬物療法を受ける高齢者の看護	講義	三枝 よし子
14	エンドオブライフケア	アドバンスケアプランニング、意思決定への支援	講義	三枝 よし子
15	終講試験	試験	試験	三枝 よし子

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 課題提出・終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論 医学書院

実務経験について（三枝 よし子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

小児看護学方法論 I

科目責任者： 竹村 眞理

担 当 者： 竹村 眞理

2年 前 期 (1単位) 30 時間

学習目標	1) 小児の心身の特徴を踏まえ健康障害をもつ小児と家族の援助技術を学ぶ。 2) 健康の保持増進・疾病予防および診療援助技術を学ぶ。
------	--

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	疾病・障害を持つ小児とその家族の看護	1. 小児の解剖生理学的身体の特徴および精神・社会的特徴 2. 小児期にみられる疾患について 3. 健康障害による生活への影響	講義	竹村 眞理
2	症状・生体機能の管理技術	バイタルサイン測定・身体計測 検体の採取・検査	DVD・講義	竹村 眞理
3	症状・生体機能の管理技術	発熱の看護・罨法	講義	竹村 眞理
4	症状・生体機能の管理技術	輸液管理・水分出納の管理	DVD・講義	竹村 眞理
5	援助関係を形成する技術 環境を調整する技術	こども・家族との関係性、発達段階に応じたコミュニケーション	DVD・講義	竹村 眞理
6	日常生活援助技術	食事・排泄の援助	講義	竹村 眞理
7	日常生活援助技術	清潔・衣生活の援助	講義・演習	竹村 眞理
8	診察の援助技術	外来で行われる診療・予防接種・検診の援助、生活（療養）指導 虐待児への取り組み	講義・DVD	竹村 眞理
9	診察の援助技術	外来受診する子どもの援助、	講義・演習	竹村 眞理
10	呼吸・循環を整える技術	酸素療法・吸引・吸入・体位ドレナージ	DVD・講義	竹村 眞理
11	呼吸・循環を整える技術	人工呼吸器の管理・	DVD・講義	竹村 眞理
12	与薬の技術	経口与薬・座薬・注射	講義・演習	竹村 眞理
13	与薬の技術	点滴の刺入（再：輸液）・輸血管理	講義・演習	竹村 眞理

14	救命救急の技術	子どもの事故と予防、一次救命処置 災害時のこども支援	講義・DVD・演 習	竹村 眞理
15	終講試験			竹村 眞理

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、終講試験等について総合的に評価する。

教科書：ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 MC メディカ出版 2021
小児看護学② 小児看護技術 MC メディカ出版 2021
小児看護学③ 小児の疾患と看護 MC メディカ出版 2021
*主に小児看護学②を使用する

実務経験について (竹村 眞理)

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	19年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

母性看護学概論

科目責任者： 三富 一十見

担 当 者： 小野川 敏子

1年 後期(1単位) 30時間

学習目標	母子を取り巻く社会の現状と課題を理解し、母性看護の意義と役割を認識する。 地域社会における母子の生活を継続して援助するための母子保健医療チームを理解する。 性と生殖の意義を理解し、男女各期の性の健康と看護について理解する。 母性看護における生命倫理について考えることができる。
------	---

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	母性看護の主な概念	授業展開について 母性を取り巻く社会の状況 母性・父性、母性看護の概念	講義	小野川 敏子
2	母性看護の主な概念	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (社会的要因を含む) 家族の発達・機能	講義	小野川 敏子
3	母子の健康生活と法律・制度	母子保健の統計指標 母子保健法及び関係法規	講義	小野川 敏子
4	母子の健康生活と法律・制度	子育て支援施策 外国人妊産婦と家族への支援 災害時の妊産婦と家族への支援	講義	小野川 敏子
5	母性看護と倫理	対象の権利と擁護 自己決定の尊重 プライバシーの保護	講義	小野川 敏子
6	性の概念	性的健康の概念 セックス、ジェンダー、セクシュアリティ 人の発生・性的分化のメカニズム	講義	小野川 敏子
7	性と生殖の機能のメカニズム	性周期 性行動・性反応 受胎のメカニズム	講義	小野川 敏子
8	思春期女性の健康課題と看護	第二性徴 性意識・性行動の発達	講義	小野川 敏子
9	思春期女性の健康課題と看護	月経異常、性感染症 (STD)	講義	小野川 敏子

10	成熟期女性の健康課題と看護	家族計画 不妊症、不育症	講義	小野川 敏子
11	成熟期女性の健康課題と看護	女性生殖器の疾患 性暴力、DV	講義	小野川 敏子
12	更年期・老年期女性の健康課題と看護	ホルモンの変化と閉経 更年期症状 骨盤臓器脱 老人性膣炎、外陰炎	講義	小野川 敏子
13	生命倫理	遺伝相談 出生前診断 着床前診断	講義	小野川 敏子
14	生命倫理	不妊治療と看護	講義	小野川 敏子
15	終講試験			小野川 敏子

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院

実務経験について（小野川敏子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	16年	助産師・看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

精神看護学方法論Ⅱ

科目責任者：吉永 美代子

担当者：高橋 かよ子

2年後期（1単位） 30時間

学習目標	1. 精神看護実践における対象の理解、援助の原則が理解できる 2. 精神看護実践における対象のとらえ方と援助の原則を踏まえた看護の役割が理解できる 3. オレムアンダーウッド理論を用いた、統合失調症患者、うつ病患者の事例を用いた看護過程の展開ができる
------	---

授業内容(シラバス)

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	精神看護実践	精神看護実践の目的・特徴 ・看護師の役割 ・技術と技法 ・精神状態のアセスメントのポイント ・入院治療の目的と意味	講義	高橋 かよ子
2			講義	高橋 かよ子
3	精神看護実践	・オレム・アンダーウッドセルフケア看護モデルとは ・実習に必要な人権擁護および精神科に関する法律や制度	講義	高橋 かよ子
4	事例展開	・統合失調症患者のオレム・アンダーウッド理論を用いた看護過程の展開 ・事例を用いた退院支援計画作成	講義	高橋 かよ子
5			講義	高橋 かよ子
6			講義	高橋 かよ子
7			講義	高橋 かよ子
8			GW	高橋 かよ子
9			GW	高橋 かよ子
10			GW	高橋 かよ子
11	退院支援	・長期入院患者の長期移行支援の展開 支援開始時～退院準備期 ・高齢精神障害者の地域移行支援の展開と看護 ・早期退院に向けた支援の展開および看護師の役割 ・夢をかなえるプラン・クライシスプラン	講義・GW	高橋 かよ子
12				高橋 かよ子
13				高橋 かよ子

14	便秘の患者への 援助	・グリセリン浣腸 ・摘便	演習	高橋 かよ子
15	終講試験			高橋 かよ子

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、提出物、終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の基礎 精神看護学① 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の展開 精神看護学② 医学書院
 精神看護学—学生・患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版

実務経験について（高橋 かよ子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。